

評価基準

評価項目	評価基準	点数	係数	評定点
①業務全体の理解度	本業務の目的や内容を正確に理解し、基本的な考え方や提案内容のポイント等が本業務の趣旨に沿っているか。	4	2	8
②実施体制	密に連携がとれるなど業務実施体制は妥当で、実施スケジュールも実現可能なものとなっているか。	4	3	12
③経費	経費内訳が明確に示され、妥当な価格であるか。	4	2	8
④企画提案 (設問内容)	設問内容について、次のような内容が期待できるか。 ・コンプライアンスを単なる『法令遵守』だけでなく、心理的安全性、職場のコミュニケーションなど、複数の観点から捉えた設問が盛り込まれているか ・個人の意識だけでなく、組織風土や職場環境などの『構造的な要因』にアプローチする設問がバランスよく配置されているか	4	4	16
(回答への工夫)	・職員が答えやすいような設問内容や周知方法など、昨年度のアンケート回答率(44.3%)を上回るような工夫が提案されているか。 ・職員が回答しやすく、誘導がかかりにくい適切な設問・選択肢の表現(択一・記述)が考慮されているか。	4	4	16
(集計・分析手法)	調査結果の集計及び分析手法について、複数視点(階層別、部署別、意識別など)での検証・深掘り案が提示されているか。	4	4	16
(改善施策)	調査結果を踏まえ、コンプライアンスの仕組みの強化につながる、具体的で実効性の高い改善施策の提案が期待できるか。	4	4	16
⑤過去の実績	本業務に類似する過去の実績など、業務全体を円滑に進めるための業務実績があるか。	4	2	8
評定点合計(100点満点)				100

※本評価基準における最低基準点は、60点(評価値の100分の60)とする。

選定委員会の委員による評価結果の合計が、300点(満点(500点)の6割)に満たない提案は、選定しない。

【評点表】

点 数	0	1	2	3	4
評価	特に劣る	劣る	普通	優れている	特に優れている